

UCS 240M4サーバの両方のブートディスクの処理障害 – CPAR

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[省略形](#)

[両方のHDDの障害](#)

[コンピューティングサーバの両方のHDDの障害](#)

[コントローラサーバでの両方のHDDの障害](#)

[OSD-Compute Serverでの両方のHDDの障害](#)

[OSPDサーバの両方のHDDの障害](#)

概要

このドキュメントでは、Ultra-Mセットアップでサーバの両方の障害HDDドライブを交換するために必要な手順について説明します。この手順は、ESCがOpenStackに導入されたVMにCisco Prime Access Registrar(CPAR)ををを管理しないとCPARがにインストールするCPARのNEWTONのNEWTONNEWTON

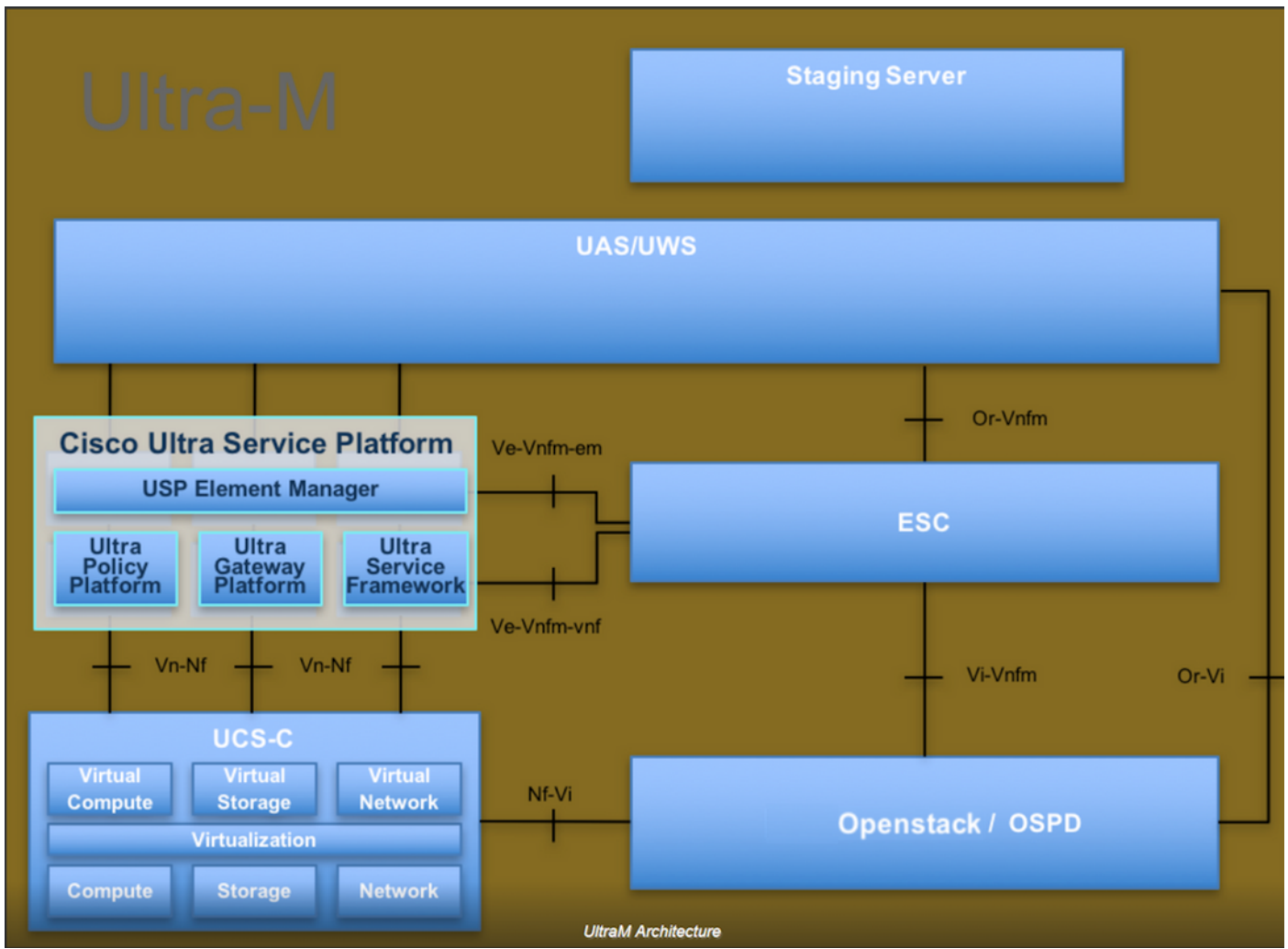
著者 : Cisco Advanced Services、Karthikeyan DachanamoorthyおよびHarita Bhardwaj

背景説明

Ultra-Mは、VNFの導入を簡素化するように設計された、パッケージ化および検証済みの仮想化モジュールコアソリューションです。OpenStackは、Ultra-Mの仮想化インフラストラクチャマネージャ(VIM)であり、次のノードタイプで構成されています。

- 計算
- オブジェクトストレージディスク – コンピューティング (OSD – コンピューティング)
- コントローラ
- OpenStackプラットフォーム – Director(OSPD)

Ultra-Mのアーキテクチャと関連するコンポーネントを次の図に示します。



このドキュメントは、Cisco Ultra-Mプラットフォームに精通しているシスコ担当者を対象としており、OpenStackおよびRedhat OSで実行する必要がある手順の詳細を説明しています。

注：このドキュメントの手順を定義するために、Ultra M 5.1.xリリースが検討されています。

省略形

- MOP 手続きの方法
- OSD オブジェクトストレージディスク
- OSPD OpenStack Platform Director
- HDD ハードディスクドライブ
- SSD ソリッドステートドライブ
- VIM 仮想インフラストラクチャマネージャ
- VM 仮想マシン
- EM エlement マネージャ
- UAS Ultra Automation Services
- UUID 汎用一意識別子

両方のHDDの障害

各ベアメタルサーバには2つのHDDドライブがプロビジョニングされ、Raid 1構成でBOOT DISKとして機能します。シングルHDD障害の場合、RAID 1レベルの冗長性があるため、障害のあるHDDドライブはホットスワップ可能です。ただし、両方のHDDドライブに障害が発生すると、サーバがダウンし、サーバへのアクセスが失われます。サーバとサービスへのアクセスを復元するには、サーバとサービスへのアクセスが必要です。両方のHDDドライブを交換し、既存のオーバークラウドスタックにサーバを追加します。

UCS C240 M4サーバで障害のあるコンポーネントを交換する手順は、次のURLから参照できます。
[サーバ・コンポーネントの置き換え](#)。

両方のHDDに障害が発生した場合は、同じUCS 240M4サーバ内の2つの障害のあるHDDのみを交換してください。したがって、新しいディスクを交換した後は、BIOSアップグレード手順は必要ありません。

OpenStackベースのUltra-Mソリューションでは、UCS 240M4ベアメタルサーバは次のいずれかの役割を担うことができます。コンピューティング、OSD-コンピューティング、コントローラ、およびOSPD。これらの各サーバロールの両方のHDD障害を処理するために必要な手順については、次のセクションで説明します。

注：両方のHDDディスクが正常であるが、UCS 240M4サーバで他のハードウェアに障害がある場合は、UCS 240M4を新しいハードウェアに交換し、同じHDDドライブを再利用してください。ただし、この場合はHDDドライブだけに障害が発生するため、同じUCS 240M4を再利用して、障害が発生したHDDドライブを新しいHDDドライブに交換できます。

コンピューティングサーバの両方のHDDの障害

両方のHDDドライブの障害が、コンピューティングノードとして動作するUCS 240M4で確認された場合は、[に示す交換手順に従ってください](#)。

コントローラサーバでの両方のHDDの障害

両方のHDDドライブの障害が、コントローラノードとして動作するUCS 240M4で発生する場合は、[に示す交換手順に従ってください](#)。両方のHDDの障害を監視するコントローラサーバは、Secure Shell(SSH)経由で到達不能になるため、別のコントローラノードにログインして、前述のリンクに記載されているグレースフルシャットダウン手順を実行できます。

OSD-Compute Serverでの両方のHDDの障害

両方のHDDドライブの障害がOSDコンピューティングノードとして機能するUCS 240M4で確認された場合は、[に示す交換手順に従ってください](#)。ここで説明する手順では、両方の障害によってサーバの到達不能が発生するため、Ceph storage graceful shutdownを実行できません。したがって、これらの手順は無視してください。

OSPDサーバの両方のHDDの障害

両方のHDDドライブの障害がOSPDノードとして機能するUCS 240M4で発生する場合は、[に示す交換手順に従ってください](#)。この場合、HDDディスクの交換後に復元するには、以前に保存した

OSPDバックアップが必要です。そうしないと、完全なスタックの再展開と同様になります。

これを参照してください。